



広報紙

# よくゆく

ホームページアドレス: <http://www.mod.go.jp/gsd/mae/macb/49i/index.htm>

第167号  
令和7年 1月 1日  
49普通広報班

## 謹賀新年



朝日を浴びる隊舎

### 主な記事

- 6 面 新年の挨拶
- 5 面 新年の抱負
- 4 面 駐屯地記念行事
- 3 面 年男の抱負
- 2 面 技能公募招集訓練
- 1 面 フォトギャラリー

## 新年のご挨拶



第49普通科連隊長  
1等陸佐  
**近藤 浩行**

新年あけましておめでとうございます。連隊後援会及びOB会の皆様、即応予備自衛官雇用企業の皆様並びに隊員とご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年元日に発生した能登半島地震、8月の豪雨による蒲郡市での土砂災害、9月の奥能登豪雨災害等、昨年も自然災害の多い年でありました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに被災された方に心よりお見舞い申し上げます。また能登半島地震に伴う災害派遣においては、連隊として6年ぶりに即応予備自衛官が災害等招集され、常即一体となって被災者に寄り添った救援活動等を行いました。この間皆様から賜りましたご厚情に対しまして深く感謝申し上げます。

さて、わが国を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しく複雑な状況が続いており、我々自衛隊に課せられた責任は益々重大になってきていますと認識しております。このような情勢において、連隊はこれまで同様数次にわたる即自の招集訓練を着実に実施し、実力の涵養に努めて参りました。また連隊は昨年3月に創隊20年を迎えました。これまでに皆様から賜りました幾多のご支援ご協力に対しまして心より感謝申し上げますとともに、諸先輩方が築き上げられた伝統と誇りを受け継ぎ、更に充実発展させるべく常即一体となって引き続き努力精進して参ります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き1年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

昨年あけましておめでとうございます。連隊後援会及びOB会の皆様、即応予備自衛官雇用企業の皆様並びに隊員とご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年元日に発生した能登半島地震、8月の豪雨による蒲郡市での土砂災害、9月の奥能登豪雨災害等、昨年も自然災害の多い年でありました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに被災された方に心よりお見舞い申し上げます。また能登半島地震に伴う災害派遣においては、連隊として6年ぶりに即応予備自衛官が災害等招集され、常即一体となって被災者に寄り添った救援活動等を行いました。この間皆様から賜りましたご厚情に対しまして深く感謝申し上げます。

さて、わが国を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しく複雑な状況が続いており、我々自衛隊に課せられた責任は益々重大になってきていますと認識しております。このような情勢において、連隊はこれまで同様数次にわたる即自の招集訓練を着実に実施し、実力の涵養に努めて参りました。また連隊は昨年3月に創隊20年を迎えました。これまでに皆様から賜りました幾多のご支援ご協力に対しまして心より感謝申し上げますとともに、諸先輩方が築き上げられた伝統と誇りを受け継ぎ、更に充実発展させるべく常即一体となって引き続き努力精進して参ります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き1年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



第49普通科連隊  
後援会長  
**穂浪 明夫**

第49普通科連隊の隊員皆様（教育隊）・ご家族の皆様をはじめ連隊後援会・OB会並びに関係協力団体の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は前人未踏の50・50達成した大谷旋風。パリオリンピックでの日本選手の活躍がございました。一方、ウクライナなどの世界情勢の緊迫・アフリカなどでの飢餓でとても悲惨な状況が続いています。能登半島地震・各地での異常気象での大洪水・南海トラフ地震の予知情報など、いつ私達の身近で遭遇するか予断を許しません。心構えは常に忘れずに持ちましよう。将来について言えば、膨大な赤字国債と少子化（老人化社会）の問題もあります。

でも、悲観ばかりしては何かも変わりませんので頑張ってくださいませよう。

隊員諸氏に贈る言葉  
人生↓煩惱↓生きる↓考える（判断）  
以上、新年のご挨拶を申し上げます。

追伸  
釣果写真で気分転換いただければ幸いです。



クエ  
(駿河湾沼津沖にて)



第49普通科連隊  
OB 会長  
**野末 英明**

新年あけましておめでとうございます。第49普通科連隊の隊員皆様、49OB会会員の皆様、連隊後援会の皆様をはじめ関係諸団体の皆様にはご家族とともに、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、49OB会として予定の事業をおおむね行うことが出来たことは皆様のご協力の賜物でありこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、国際情勢はウクライナ戦争・ガザ紛争の長期化、アジアでは中国が威圧的行動を重ね、北朝鮮の核・ミサイル脅威の増大等引き続き極めて厳しい環境にあります。そのような状況の中49普通科連隊の皆様におかれましては、1月には能登半島地震に伴う災害派遣に即応予備自衛官を含めて参加され民生の安定に寄与いただきました。3月には連隊創隊20周年を迎えられ、一般陸曹候補生の教育訓練、数次にわたる連隊野営、混成団ICE訓練等の厳しい訓練を着実に実施され実力をつけられておられるところであり心から敬意と感謝を申し上げます。

2025年は十二支で言うところの「巳」（み）へび年にあたり、神様の使いとして大切にされてきた動物で脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。十干（じっかん）では2番目の「乙（きのと）」の年で草木がしなやかに伸びる様子や横に広がっていく意味を持ちます。これらことから2025年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」と言われています。今年が皆様にとって脱皮を繰り返して実（巳）年に申しあげ新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。第49普通科連隊の隊員皆様、49OB会会員の皆様、連隊後援会の皆様をはじめ関係諸団体の皆様にはご家族とともに、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、49OB会として予定の事業をおおむね行うことが出来たことは皆様のご協力の賜物でありこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、国際情勢はウクライナ戦争・ガザ紛争の長期化、アジアでは中国が威圧的行動を重ね、北朝鮮の核・ミサイル脅威の増大等引き続き極めて厳しい環境にあります。そのような状況の中49普通科連隊の皆様におかれましては、1月には能登半島地震に伴う災害派遣に即応予備自衛官を含めて参加され民生の安定に寄与いただきました。3月には連隊創隊20周年を迎えられ、一般陸曹候補生の教育訓練、数次にわたる連隊野営、混成団ICE訓練等の厳しい訓練を着実に実施され実力をつけられておられるところであり心から敬意と感謝を申し上げます。

2025年は十二支で言うところの「巳」（み）へび年にあたり、神様の使いとして大切にされてきた動物で脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。十干（じっかん）では2番目の「乙（きのと）」の年で草木がしなやかに伸びる様子や横に広がっていく意味を持ちます。これらことから2025年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」と言われています。今年が皆様にとって脱皮を繰り返して実（巳）年に申しあげ新年のご挨拶とさせていただきます。



連隊最前任上級曹長  
准陸尉 安田 勝之

新年あけましておめでとうございます。第49普通科連隊の隊員・ご家族の皆様、連隊後援会・連隊OB会並びに即応予備自衛官雇用企業主の皆様におかれましては、良き新春迎えられたこと心より喜び申し上げますとともに、平素からのご支援、ご理解を賜りお礼申し上げます。

昨年3月に最前任上級曹長に着任以来、「感謝」を自身のモットーとして次世代を担う隊員の人材育成に取り組みでまいりました。連隊は、即応予備自衛官招集訓練、新隊員教育、11月に実施された、第1次訓練検閲等、各種訓練を実施し、着実に実力をつけるよう日々邁進してきました。今後も、国民の皆様の期待に応えるべき日々精進してまいります。本年も昨年と同様の変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。



本部管理中隊長  
1等陸尉 浜田 真二

新年あけましておめでとうございませう。連隊後援会、OB会の皆様、即応予備自衛官雇用企業主の皆様、隊員及び隊員ご家族の皆様におかれましては、楽しい正月をお迎えでしょうか、本年も良い年でありませうお祈り申し上げます。昨年8月に中隊長として上番以来、本部管理中隊長として上番である、「融和団結」と「個人の充実」を柱として日夜訓練等に励んでおります。「融和団結」においては、本部管理中隊の特性上、連隊本部班勤務

者、連隊直轄小隊等及び中隊本部勤務者の任務がそれぞれ異なり、一見バラバラのように見えても普段から意思の疎通を重視して連隊の任務達成に邁進してもらいたいからであります。「個人の充実」においては、みんなが助け合い心配事などをなくして充実してもらいたいからであります。特に隊員ご家族の皆様も悩み等ありましたらご相談くださいと思っております。皆様引き続き本年もどうぞよろしくお願致します。



第1中隊長  
3等陸佐 佐藤 邦浩

新年明けましておめでとうございませう。隊員・隊員家族の皆様、雇用企業主様並びに連隊後援会・OB会の皆様におかれましては、希望に満ち溢れた新年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。また、平素からのご支援、ご理解を賜り御礼申し上げます。

昨年は、1月に発生した能登半島地震において、人命救助・物資輸送等を実施し、被災された方々のお役に立つことができました。

第1中隊は、北陸3県出身者が多く、地元で発生した災害に対し、自らも被災しているながら、多くの隊員が災害派遣に従事いたしました。多くの困難を乗り越え、災害派遣において任務を完了することが出来ましたのも、隊員家族の皆様、雇用企業主様のご理解・ご協力の賜物であったと感じております。引き続き、如何なる事態にも即応し、国民の皆様様に安心を与えられる部隊となるよう一丸となって努力する所存でございます。



第2中隊長  
3等陸佐 友田 進

新年明けましておめでとうございませう。即応予備自衛官を含む所属隊員諸官、隊員ご家族の皆様、即応予備自衛官雇用企業主様及び連隊OB会並びに連隊後援会の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年3月から第9代中隊長に就任した友田進です。よろしくお願致します。

昨年は1月から能登半島地震に伴う災害派遣により即時救援活動や孤立した地域への物資輸送等に従事してまいりました。常備自衛官32名と即応予備自衛官27名の計59名が参加し、無事、任務完遂することができました。また、令和6年度中隊訓練検閲において「東富士隘路」の任務を付与され、東富士隘路一帯において敵機械化大隊の侵攻を阻止し、任務完遂できたことは、隊員諸官の実直な取り組みとご家族皆様の献身的な支え、協力諸団体の皆様のご温かいご支援・ご声援の賜物と心より感謝申し上げます。中隊は、この成果に慢心することなく、即応態勢を維持し、訓練を重ね常即一体となり練度向上していく所存です。



第3中隊長  
1等陸尉 尾崎 勝繁

新年あけましておめでとうございませう。雇用企業主様、連隊後援会をはじめ、隊員並びにご家族の皆様におかれましては穏やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、常備自衛官及び即応予備自衛官が一体となりあらゆる任務を完遂できるような訓練に励んでいきたいと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に申しあげますが、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



第4中隊長  
3等陸佐 荒川 雄亮

新年明けましておめでとうございませう。所属隊員諸官、そして平素からご理解ご支援、ご協力をいただいております隊員ご家族、即応予備自衛官雇用企業主様、連隊後援会並びにOB会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は能登半島地震における災害派遣任務から始まり、常即一体となって捜索救援活動等に当たり任務を完遂することができました。また訓練においては、抑止力・対処力の強化に資する能力向上を主眼として、鍛錬に励み練度を向上することができました。

これらの成果は、厳しい訓練にも勇猛果敢に取り組み実力を蓄えてくれた隊員諸官と、いつも訓練に送り出してくださる隊員ご家族、即応予備自衛官雇用企業主様のご理解、ご協力があったからこそと感謝申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとりましてさらに幸多き年でありませうように祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。





第5中隊長 1等陸尉 早川 勉

新年あけましておめでとうございます。隊員・隊員家族の皆様、雇用企業主様並びに協力諸団体の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年3月に着任以来、訓練を重ねてまいりました。特に本年早々に実施予定の中隊検閲に向けて、隊員各々が創意工夫した効果的な訓練を実施してまいりました。中隊検閲においては、常即一体となり一丸となつて、任務を完遂する所存であります。また、昨年初めに発生した能登半島地震では、即応予備自衛官を含め災害派遣活動を実施し、隊員個々も国民からの自衛隊への期待が高いことを深く認識しました。

最後にありますが、本年も皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い致しますとともに、皆様の今年一年のご健勝、ご多幸と能登半島沖地震で被災された地域の一刻も早い復興を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。



1等陸尉 田中 太朗

新年明けましておめでとうございます。隊員・ご家族の皆様、連隊後援会、OB会並びに雇用企業主の皆様、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。6年3月に第9代中隊長に就任以来、任務・火力・健康・家族・仲間「最優先」を統率方針とし、パリオリンピックで大活躍する日本とともに、訓練・行事に励んでまいりました。昨年7月に実施された混成団ICE訓練においては、特別支隊を編成して、火力単位を増加、損耗を回避しつつ射撃任務を遂行し、着実に練度の向上を図ることができました。

今後実施予定の実射訓練に向け、隊員一

同、火力戦闘部隊の誇りを握りしめ全弾命中の精神で訓練に臨みます。あわせて諸先輩方の伝統を継承し、更なる射撃精度と健在性のバランスを追求した部隊運用、今後の任務の達成に必要な練度と将来を見据えて必要な練度の向上に励む所存でありますので引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、能登半島地震での隊訓を生かし、即応態勢を確立しながら隊員と共に充実した明るく楽しい一年となるよう隊員・隊員ご家族の皆様、連隊後援会、OB会並びに雇用企業主の皆様の本年のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

年男の抱負



3等陸曹 石倉 一正

皆さんこんにちは。そして明けましておめでとうございます。年男の石倉です。今年が明け新年になったということで、今年の抱負を発表させて頂きたいと思っております。

今年の抱負は「知識の向上」です。昨年は「技術の向上と知識の向上」を抱負としていましたが、一年を通じて私は知識がまだまだ浅いなと考え、今年の抱負は知識の向上としました。なぜ知識にこだわるのかといいますと、知識を持つことで全ての行動・言動において人の心を惹きつけることができると思つたからです。昨年、多くの方々とお会いしお話をさせて頂くことがありましたが、会話をしている中で頭のいい人、面白い人ではなく、知識が多く引き出しが多い、面白い人と感じました。知識が多い人は言葉やいろいろな事を

知っています。私が知らない事を知っています。私が知らない言葉を使い、知識を披露してくれれます。この時点で興味を抱いてしまうのですが、知識を深く増やしていく、そこから他者との会話でそれを活かすことが、とても格好良く思ひ、深く感動しました。そこで、私自身知識を深めようと思ひ、単身赴任中で課業外の時間を活用し、本を読み始めました。書店のビジネスコーナーにある面白そうな物を手に取り、最初に2、3ページ位を読み、その中で、「この続きをみたい。」と思った本を買っていただきます。活字を読む習慣がなく、あまり進みませんが、少しずつ読んでいます。

現在読んでいる本については「人は話し方が9割」です。内容に関してはあまり興味になかったのですが、数ページ読むと、「読みやすい、タメになる」と思ひ購入しました。本を読み、言葉を蓄えて、いつの日かアウトプット出来るように続きも読んでいきたいと思ひます。まだまだ拙い言葉・文章で申し訳ありませんが、今年も頑張つて皆様のお役にたてるように精進したいとおもいます。今年も暖かいご指導よろしくお願ひします。



第1中隊長 2等陸曹 野尻 勇之介

新年、あけましておめでとうございます。令和6年8月から第49普通科連隊第1中隊で勤務して、早くも5ヶ月が過ぎようとしています。その間、様々な方から御支援、御協力を頂き、家族全員が健やかに新年を迎える事ができ、感謝しています。仕事面においては、中隊の雰囲気慣れ、招集訓練で即応予備自衛官の方々の訓練に邁進する事ができました。



第2中隊長 即応予備3等陸曹 駒田 一真

新年にあたり年男の抱負としまして、仕事面においては、対戦車分隊長として小隊長を積極的に補佐し中隊第一線の戦力化に貢献していき、プライベートルドでは支えてくれている家族を変わらずに大事にしていきたいと思ひます。最後に、今年も1年、皆様にとつて良い1年になりますように祈念いたします。

年男となりました駒田3曹です。こうして文章を作成するのは随分と久しぶりですが、一言に抱負と申すならば「歳を取らない事」これに尽きます。本年を迎えアラフォーの舞台に乗り、心身ともに老いが来る頃合いではないかと存じます。しかしながら、これまでの取り組みとして、一昨年度の体力検定不合格を受け、現在まで通勤時の復路で9km、13kmのランニングを取り入れ、累計約1800kmを走破するとともにグリッパで握力を100kg前後まで増幅し体力の維持向上に努めて参りました。引き続き今年も継続していきたいと思ひます。併せて、学生時代に行なっていた剣道の再開、将来の希望では剣術無外流道場の入門も達成したいと考えています。ご覧の皆様も様々な目標があるとは思いますが、ここまでを通して実感したのは物事に対して出来ない、しない理由は数多くあり、断念するのは容易なことですが、目標に向けての取り組みを実行する理由は、いつでも「すべからず」であり、そうするのは自身の決断次第であります。重い腰を上げる事、取り組みを始める事、言うのがなかなか難儀ではありますが、今年も(4面に続く)

(3面から続く)  
すべからくして事を実行できる強さ、若さを保持・増強していきたいと思っております。  
本年もよろしくお願い致します。



**第3中隊  
1等陸曹 森山 鉄兵**

新年あけましておめでとうございます。  
第49普通科連隊での勤務も約5年が経ち本年で4回目の年男を迎えます。昨年の3月から先任上級曹長に上番し、慣れながらも上司のご指導、中隊の仲間の協力を得て充実した勤務を送ることができました。  
今年の年男の抱負といたしまして、巳年は「成長」や「変革」の年となるそうです。

第3中隊も新たな中隊長を迎え「変革」の年となります。隊員一丸となつてさらに「成長」できるように先任上級曹長として中隊を支えていける力を養いたいと思ひます。

プライベートにおいて昨年は生活習慣病健診であまり良い結果が出なかったため今年には計画的な体力錬成、食生活の改善を実施して病氣、怪我のない一年にしていきたいと思ひます。

最後に、今年一年が皆様にとつて、より良い一年に成りますように祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



**第4中隊  
即応予備  
3等陸曹 大林 鉄平**

27歳で予備自衛官補となり大津駐屯地の正門をくぐつて約20年。一般公募の即応予備自衛官として2任期に入る本年を迎えました。  
私の本職は地元の小さな神社で神主を

しております。しかし、本業の他にJAでの仕事、また副業をいくつかするなど、何足もの草鞋を履いて即自の活動をしています。

本年で48歳、社会では様々な役目や責任がかかってくる年代であります。部隊においては大きなことは出来ませんが、訓練には積極的に参加していき新しく入ってくる一般公募のメンバーに先輩としてできるだけ自分の経験を伝えて行きたいと考えています。

また、昨年正月に発生した能登半島地震に即応予備自衛官として災害派遣に行った経験を、仕事の関係者や地元自治会などの場で話して欲しいと言われることが多く、そのことも含めて防災士と応急手当普及員の資格を取得して、地域の防災に貢献したいと思っております。

膝・指・眼とケガが続く年々体力が衰えてきておりますが、一歩でも前へ進んでいきたいと思ひます。



**第5中隊  
即応予備陸士長  
東久保 良太**

明けましておめでとうございます。

即応予備自衛官の東久保士長です。現在大学3年生で哲学を専攻し、部活は少林寺拳法部と茶道部に所属しております。年男を迎えるにあたり抱負を述べさせていただきます。

1つ目は、部活・バイトそして訓練に出頭しつつ4年で大学を卒業することです。特に少林寺拳法部ではもうすぐ黒帯になりますので頑張つていきたいと思ひます。

2つ目は、彼女を作ることです。勉強をするために愛知県にやってきましたが、このままでは勉強だけで終わってしまいそうなので夜も眠れず朝も起きられないほどの不安に毎日襲われています。

さて、大学の4年生には就活に遅れている人もおり、そういう人には積極的に自衛隊を勧めたいと思います。(中には採用試験を受けた方もいます)後輩を自衛隊へリクルートするだけでなく、女子学生も彼女にリクルートできる様、そして抱負を達成できる様、日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。



**重迫撃砲中隊  
2等陸曹 小川 潤**

新年あけましておめでとうございます。

第49普通科連隊重迫中隊に転入して1年9か月が経ちました。新しい部隊や土地にも慣れ落ち着いて職務に専念できるようになりました。これもひとえに私を見守り続けて頂いている精強重迫中隊みんなのおかげだと思つています。

昨年は保全陸曹業務等、今まで携わることがなかった業務に上番することになりました。また、迫撃砲分隊長として実弾射撃訓練にも参加し中隊の一員としてたくさんの技能・知識を学ぶことができました。

また、プライベートにおいては第1子長女「湊都(みなと)」が誕生し、私自身父親となり、公私共に非常に充実した一年を過ごすことができました。

今年の干支は「巳」ですので、一人の父親(年男)として生まれ変わる気持ちで強い責任感と向上心を持って職務に邁進し、部隊に貢献できるよう六根清浄!身を粉にして頑張ります。

**豊川駐屯地創立74周年記念行事**

連隊は令和6年11月23日及び24日に実施された豊川駐屯地創立74周年記念行事に参加した。

今年の記念行事は2日間にわたり開催され、23日は募集広報・隊員家族の日として訓練展示及び体験試乗やステージイベント、24日は観閲式及び訓練展示が行われた。連隊は訓練展示を主に担当し、駐屯地所在部隊とともに躍動感のある陣地攻撃を展示した。

また、24日には感謝状贈呈式が行われ、連隊後援会の天野氏に豊川駐屯地司令感謝状が贈られた。



**感謝状贈呈式**



**訓練展示**



**観閲式**



**三河陣太鼓演奏**

VOICES



**小隊検閲に参加して**  
**本部管理中隊**  
**即応予備3等陸曹**  
**宮本 望**

地雷埋設時の行動は、作業時間の短縮及び掘開要領の精度を高める必要性を感じました。特に地形、土質に応じた対策が必要だと感じました。

11月2日から東富士演習場で実施された施設作業小隊の小隊検閲に分隊員として参加しました。

低温及び降雨が予測される中、2夜3日の状況に耐えるよう防寒着や装備の準備をしましたが、結果として少し荷物が多かったと感じました。何が必要で、何が不要なのか次に備える良い基準となりました。



**小隊検閲を終えて**  
**本部管理中隊**  
**即応予備3等陸曹**  
**宮本 望**

爆破訓練においては、今まで一番薬量の量が多く、それだけでも驚きました。初めての設置要領でしたが、事前訓練により迷うことなく皆済々と動けました。装填孔の掘削の際に手彫りのため時間がかかってしまったので体力練成の必要性を再認識させられました。

今回、大雨で厳しい環境での訓練となりましたが、今までの訓練成果を確認できるとても良い経験となりました。

今回の施設作業小隊検閲で分隊長として参加しました。

初日は、豪雨の中での訓練となりました。今回の分隊員が5人であり、任務に影響が出ないように、いつも以上に手元足元の滑り等による負傷防止や体調管理に注意しました。

夜間、地雷埋設を実施しましたが、敵の方向を分隊員に誤って指示してしまいました。敵の拠点と我のい

る地点及び道路がどこに向かっているかを十分に確認すべきだと思います。また、隠蔽すべき土のうが完全に暴露してしまっていることに気づけなかったのも視野が狭くなっていたのが原因だと考えられます。普段の訓練から視野を広くするようにして訓練に取り組むべきと感じました。

他にも様々な課題ができたので、今回の反省点を次回からの訓練等に生かしていきたいと思えます。



令和6年度第2回安全の日



タイヤ交換教育

連隊は令和6年11月13日、豊川駐屯地において「令和6年度第2回安全の日」として、安全管理に係る教育を実施し、過去の訓練事故の風化を防止するとともに、隊員の安全管理意識の高揚を図った。

近年、陸上自衛隊内で発生した車両事故や火災、季節の特性による疾病（熱中症、低体温症等）の各種訓練事故の再発防止や対処を行うために実施しているもので、

本年度は6月に続き2回目。

今回は本格的な冬を迎える前に、低体温症の症状やその応急処置、消火器材の取り扱い、実弾射撃時における安全管理を教育するとともに、306普通科直接支援中隊の支援を受け、タイヤ交換時の注意点及び車種ごとの特性等を教育し、冬季に起こりやすい各種事故の予防方法と対処要領を連隊内で共有した。

令和6年度第1回  
技能公募予備自衛官招集訓練

連隊は令和6年11月29日から12月3日までの間、豊川、守山及び春日井の各駐屯地において、令和6年度第1回技能公募予備自衛官招集訓練を実施した。

本招集訓練は、予備自衛官補（技能）として採用された後に予備自衛官へ任用された技能公募予備自衛官を対象とするもので、予備自衛官共通科目及び専門の職務ごとの課目が行われる。今回、共通科目は、基本教練や小銃射撃、体力測定等を行い、職務訓練科目は豊川駐屯地、春日井駐屯地や守山駐屯地の職種部隊において衛生、施設、通信、車両整備など保有資格に応じた訓練を5日間にわたり実施した。



基本教練

定年退官



**重迫撃砲中隊**  
 准陸尉 馬淵 悟志  
 〈令和6年12月24日付〉

長年にわたる勤務、大変お疲れ様でした。

栄光

連隊長表彰

第4級賞詞  
 （車両無事故走行）

本管中隊 2曹 高邊 大輔  
 第2中隊 2曹 二階 充貴

第74期3尉候補者  
 選抜試験合格

第3中隊 曹長 星野 俊二

令和6年度豊川駐屯地司令感謝状

第49普通科連隊後援会  
 天野 正弘 様



# Gallery Forty Nine

観閲行進



訓練展示(らっぱ手)



訓練展示(小銃小隊)



訓練展示(衛生)



勤務員



訓練展示ナレーション



駐屯地司令感謝状贈呈式 後援会天野様



ご参加いただいた後援会、OB会の皆様



豊川駐屯地創立74周年記念行事(10.23-24 豊川)



技能公募予備自衛官招集訓練(11.29-12.3 豊川ほか)



職場見学支援(12.4 豊川)



情報管理検査(12.5 豊川)

